



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月29日

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社

上場取引所 東

コード番号 4957 URL <http://www.yschem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安原 禎二

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 池庄司 敬和

TEL 0847-45-3530

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	5,659	14.3	664	98.9	668	101.2	374	146.1
22年3月期第2四半期	4,952	△16.6	333	49.9	332	59.0	152	20.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	36.47	—
22年3月期第2四半期	14.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	19,838	15,433	77.8	1,501.89
22年3月期	19,264	15,155	78.7	1,474.88

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 15,433百万円 22年3月期 15,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年3月期	—	6.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,106	5.2	717	△21.8	708	△23.3	419	△15.7	40.84

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「2. その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	10,839,663株	22年3月期	10,839,663株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	563,701株	22年3月期	563,691株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	10,275,964株	22年3月期2Q	10,643,725株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 2「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国を中心とする新興国向け輸出の回復や、エコポイント、猛暑の影響による個人消費の堅調な推移により企業収益の改善がみられ、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、雇用環境の悪化やデフレの影響、また、欧州の財政問題を発端とする世界的な株安や急激な円高、エコカー減税の打ち切り等により景気が減速するリスクが高まっており、先行きに不透明感を残す状態となっております。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましても、国内外市場の需要は回復いたしました。しかしながら、価格競争が激化するなど、業界を取り巻く環境も大変厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、時代の変化と顧客ニーズを的確に把握し、新製品の開発並びに新規需要の掘り起こしに全力を注ぐとともに、緻密な営業活動による販売強化に努めてまいりました。また、品質保証体制の維持・強化をはかるとともに、更なる生産効率のアップ、販売管理費の低減、効率化等を実施し収益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高5,659百万円(前年同期比114.3%)、経常利益は668百万円(前年同期比201.2%)となりました。四半期純利益は、374百万円(前年同期比246.1%)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は19,838百万円となり前事業年度末に比べ573百万円の増加となりました。その主な要因は、前渡金224百万円減少等ありましたが、現金及び預金449百万円、売掛金91百万円、商品及び製品95百万円、仕掛品105百万円等それぞれ増加したためであります。

負債は4,404百万円となり前事業年度末に比べ296百万円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金300百万円増加等あったためであります。

純資産は15,433百万円となり前事業年度末に比べ277百万円の増加となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金35百万円減少等ありましたが、利益剰余金313百万円増加等あったためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は3,051百万円となり、前事業年度末に比べ388百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは698百万円の収入となり、前年同四半期に比べ173百万円の減少となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益391百万円、売上債権の減少116百万円等ありましたが、たな卸資産の増加349百万円、法人税等の支払額296百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは474百万円の支出となり、前年同四半期に比べ274百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出205百万円、投資有価証券の取得による支出95百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは163百万円の収入となり、前年同四半期に比べ352百万円の増加となりました。その主な要因は、短期借入による収入400百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績は、当初予想を上回る結果となりましたが、平成23年3月期の通期業績予想に関しましては、景気の先行きは依然として不透明感が強く予断を許さない状況が続いているため、平成22年4月28日公表の通期の業績予想から変更はいたしておりません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ・固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分しております。

- ・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,015,147	2,565,861
受取手形及び売掛金	2,810,394	2,726,846
有価証券	285,100	346,196
商品及び製品	1,397,713	1,302,322
仕掛品	668,199	562,411
原材料及び貯蔵品	3,482,362	3,550,398
繰延税金資産	86,077	96,102
その他	167,392	325,704
貸倒引当金	△2,812	△2,722
流動資産合計	11,909,575	11,473,122
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,433,679	1,045,324
機械及び装置(純額)	986,583	1,077,604
土地	3,719,282	3,751,581
その他(純額)	980,500	1,164,791
有形固定資産合計	7,120,045	7,039,301
無形固定資産	19,541	21,443
投資その他の資産		
投資有価証券	578,344	540,594
繰延税金資産	171,052	143,422
その他	53,396	60,344
貸倒引当金	△13,816	△13,816
投資その他の資産合計	788,976	730,544
固定資産合計	7,928,563	7,791,289
資産合計	19,838,139	19,264,411
負債の部		
流動負債		
買掛金	691,708	648,283
短期借入金	2,249,196	1,949,196
未払法人税等	277,258	309,934
賞与引当金	151,523	141,210
その他	471,749	430,946
流動負債合計	3,841,435	3,479,571
固定負債		
長期借入金	101,185	175,783
退職給付引当金	162,188	167,184
役員退職慰労引当金	299,485	285,646

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
その他	450	450
固定負債合計	563,309	629,064
負債合計	4,404,744	4,108,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,567	1,789,567
資本剰余金	1,729,013	1,729,013
利益剰余金	12,274,018	11,960,902
自己株式	△390,961	△390,954
株主資本合計	15,401,637	15,088,528
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,757	67,248
評価・換算差額等合計	31,757	67,248
純資産合計	15,433,395	15,155,776
負債純資産合計	19,838,139	19,264,411

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,952,421	5,659,225
売上原価	3,728,620	4,030,854
売上総利益	1,223,800	1,628,370
販売費及び一般管理費	889,820	964,105
営業利益	333,979	664,265
営業外収益		
受取利息	1,591	966
受取配当金	5,477	5,808
助成金収入	15,889	—
補助金収入	—	27,217
その他	16,551	15,379
営業外収益合計	39,510	49,371
営業外費用		
支払利息	13,543	10,618
手形売却損	3,365	2,859
為替差損	20,652	27,103
その他	3,606	4,484
営業外費用合計	41,167	45,065
経常利益	332,323	668,572
特別損失		
固定資産処分損	66	19,071
環境対策費	74,000	—
特別損失合計	74,066	19,071
税引前四半期純利益	258,257	649,500
法人税、住民税及び事業税	100,562	268,276
法人税等調整額	5,388	6,452
法人税等合計	105,951	274,728
四半期純利益	152,305	374,771

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	258,257	649,500
減価償却費	346,814	312,207
受取利息及び受取配当金	△7,069	△6,774
支払利息	13,543	10,618
為替差損益(△は益)	4,786	606
売上債権の増減額(△は増加)	△200,046	△83,547
たな卸資産の増減額(△は増加)	216,383	△133,141
仕入債務の増減額(△は減少)	101,688	43,424
その他	149,933	210,021
小計	884,290	1,002,914
利息及び配当金の受取額	6,950	6,779
利息の支払額	△14,355	△9,953
法人税等の支払額	△4,898	△300,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	871,987	698,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△135,540	△135,640
定期預金の払戻による収入	135,398	135,590
有価証券の取得による支出	△11,063	△11,091
有価証券の売却による収入	11,020	11,063
有形固定資産の取得による支出	△194,817	△399,900
有形固定資産の売却による収入	—	23,256
無形固定資産の取得による支出	△2,657	—
投資有価証券の取得による支出	△1,626	△97,297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,286	△474,020
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	300,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△74,598	△74,598
自己株式の取得による支出	△80	△7
配当金の支払額	△63,588	△61,442
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,266	163,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,786	△606
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	479,648	388,111
現金及び現金同等物の期首残高	2,239,730	2,663,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,719,378	3,051,232

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。